

コミュニケーション支援に係る新たな取組について

1 これまでの経緯

- ・2016年10月に「手話言語・障害者コミュニケーション条例」を策定して以降、様々な対象に向けて普及啓発を実施。
- ・普及啓発に加えて、災害時の避難所等におけるコミュニケーション支援の普及の取組を実施。

2019年度 市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

2020年度 避難所及び日常生活で活用できるコミュニケーション支援アプリの開発

- ・近年は、コミュニケーション支援アプリの運用、改修を継続しているが、専門部会等において、従前から「コミュニケーション支援アプリでは視覚障害者等へのコミュニケーション支援は難しい」旨の御意見をいただいている。

→2023年度は、特に災害時の避難所等での支援を想定して、視覚障害者等のコミュニケーション支援に係る新たな取組の検討を進めることとしたい。

2 視覚障害者等の避難所及び日常生活におけるコミュニケーションの困りごとについて

- ・聴覚に障害のある方、知的障害・発達障害のある方については、コミュニケーション支援アプリがある程度有効であるとのことをご意見をいただいている。
- ・災害時の避難所や日常生活において、コミュニケーション支援アプリが活用できない困りごとについて御意見を伺いたい。

3 今後の予定

今後、いただいた意見（困りごと）を基に取組内容案について検討

- ・第2回専門部会（10月開催予定） 取組内容の事務局案について審議
- ・第3回専門部会（12月開催予定） 2024年度の取組予定について報告